

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4 年 6 月 6 日 更新

事務事業名		安全運転管理者等協議会参画事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4 生活環境の健康					所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施 策	16 交通安全対策の推進					所属課	交通防災課	担当者名	和田 満里奈
	施策の柱	52 交通事故防止対策の推進					所属班	交通防災班	(内線)	1242
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10040	根拠法令	道路交通法		
終了、開始年度		☐ 3年度で終了 ☐ 3年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本北合志地区安全運転管理者等協議会の会員として、熊本北合志地区安管協との連絡を密にして、職場における安全運転管理体制の育成強化と交通事故等の撲滅を図る。道路交通法で定める安全運転管理者の選任に基づき、この協議会が発足した。 合志支部では、中学生への反射タスキの配布、交通安全啓発活動等を行なっている。
【業務の流れ】	安管協が行う交通安全活動の推進及び交通安全意識の普及、安全思想の高揚を図るための事業の支援を行う。
【主な予算費目】	負担金補助及び役務費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)		4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
安管協議会の実施する各種イベントの事務を行い、合志市内6分会(1~6分会)71事業所の交通事故防止に努めた。		合志市内の6分会71事業所で、交通安全啓発活動を実施する。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 安管主催事業への参加回数	回		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・熊本北合志地区安全運転管理者等協議会及び支部連合会		→ ア: 加入事業者数(市内)	事業所
・職員		→ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・安全運転への意識を高め、事故違反を起こさない		→ ア: 新しく加入した事業所数	件
・公用車の交通事故をなくす		→ イ:	
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込
① 活動指標	ア	回	3	2	5	2	5	5	5	5
	イ									
② 対象指標	ア	事業所	73	71	72	71	72	72	72	72
	イ									
③ 成果指標	ア	件	0	0	1	0	0	0	0	0
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	51	34	54	52	54	54	54
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	51	34	54	52	54	54	54
		(A)のうち指定経費	千円	33	33	33	33	33	33	33
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	4	3	4	4	4
投 入 費 量	人 件 費	延べ業務時間	時間	120	140	120	130	120	120	120
		(B) 人件費計	千円	475	552	478	508	478	478	478
		トータルコスト(A)+(B)	千円	526	586	532	560	532	532	532

事務事業名	安全運転管理者等協議会参画事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 3年度の後評価、ただし複数年度事業は 3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 新規加入促進が不足していたため、新規加入がなかった。
	② 4年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 熊本北合志地区安管協議会及び支部内での緊密な連携を図り、より積極的な事業実施と協議会加入の促進、啓発を行うことで、目標達成に繋がる。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 啓発、加入促進を行うことで、加入事業所の増加を目指す。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 協議会運営に必要な最低限の費用であるため削減の余地はない ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 事業運営に必要な事務のみであるため削減余地はない。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市内事業所を対象とした交通安全の推進を図るための支援事業であり、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 事業所の交通安全については官公庁が率先して取り組む必要があるため。

3 評価結果の総括（CHECK）

今後より協議会への加入促進につとめ、市内事業所及び市内の交通安全意識の高揚も図っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☒事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

協議会への加入促進につとめ、市内事業所及び市内の交通安全意識の高揚も図っていく。